

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

パ  
チ  
ユ  
リ  
ー  
ン  
グ  
レ  
ッ  
ジ

快  
発  
記  
録





あら……？

ふわ……あ……



し……失礼します

ガチャ



パチュリー様

朝食をお持ちしました



今日は小悪魔じゃないのかしら……？

——最初のきっかけは

体調を崩した小悪魔さんの代わりにパチュリー様の身の回りの雑務を任されたことだった



う……

食事の用意  
お召し物の調達  
寝ぐせ直し  
読み終えた本の片付け  
等々：

普段の司書の  
仕事とは毛色の違う  
ものがほとんどだったが

戸惑いながらも  
細かな雑務は  
概ね問題なく  
こなすことができた

しかし：

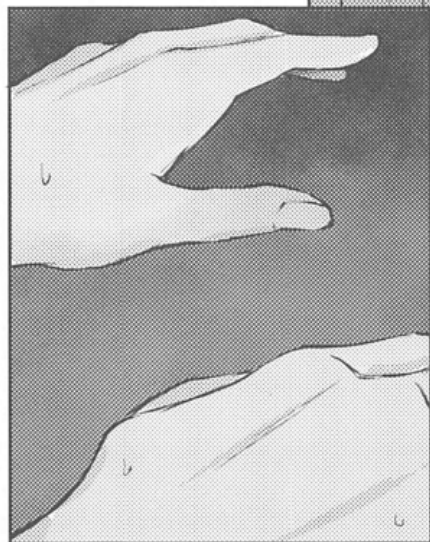
だんだんと  
司書見習いとして  
抱いてはいけない  
劣情が膨らんでいき：

無防備な  
パチュリー様に  
何日も付きつきり  
いるうちに

えーと  
あの本は…と

薄暗い図書館の奥  
次に読む本を探そうと  
立ち上がった  
パチュリー様の後ろで

その感情を  
爆発させて  
しまった



あん...た  
今日はやけに  
無口だと思ったら...

こんなこと  
考えたのね  
.....ッ



やだっ…

まっ…て…



すみませんっ…

パチュリー様と二人きりでいたら…もう…

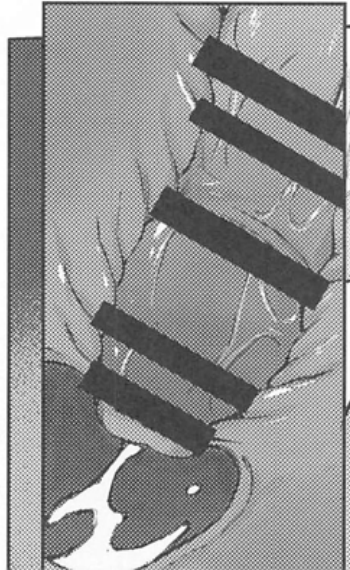
や…

あ…

もど

ずるる

いつ魔法で焼かれても仕方ないと覚悟はしていた



パチュリー様の身体を味わった後に死ぬなら悔いはない…と

しかし  
終わった後も  
パチュリー様は  
黙ったままで

これほどのことを  
してしまったのに

魔法で焼かれる  
どころか  
何らかの罰を受けたり  
解雇を言い渡されたり  
することもなく

小悪魔さんが復帰した後も  
まるで何事もなかった  
かのように振る舞う  
パチュリー様が逆に  
不気味だった

そして…

TOILET

見習いは色んな  
雑用をやらされがち  
だけど

その中でも一番  
きつい仕事だよな  
トイレ掃除…

グシ  
グシ  
グシ…

ガ  
子  
ヤ

あ……

え……と……  
パチュリー様……  
すみません  
今掃除中

ええ……  
掃除は  
もういいから  
小悪魔の  
書庫の整理を  
手伝ってきて

パチュリー様の  
いる個室の中  
に入れてしまう  
のでは……

シユル……

やっぱり  
いつも通りの  
パチュリー様だ……

あの時の事は本当に  
どう思っているの  
だろう……

強いて言えば  
若干冷たかった  
くらいか……

……ってあれ……  
今 鍵かける音  
しなかったような  
……？

も……  
もしかして……

ギシッ

葛藤は  
最初よりも  
少なかつた

ドクン  
ドクン

ガ  
チ  
ャッ

この好状況と  
性衝動に負けて

また  
パチュリー様を...



こ...のっ  
性懲りもなく...

ここ何処だと  
思ってるのよ  
...っ

忘れられないん  
です...

ぬふふ...

パチュリー様の  
感触がっ...

やめ...て

っば  
...







前よりも  
トロットロて…

締めつけも  
強くなつて…



パチユリー様の  
腔中…  
この前よりも  
濡れが早い…？

たぶん  
気のせいじゃ  
ない…



突くたびに  
柔らかいヒダが  
押し返してくる  
めちゃくちや  
気持ち良いっ…



あぁあぁあ



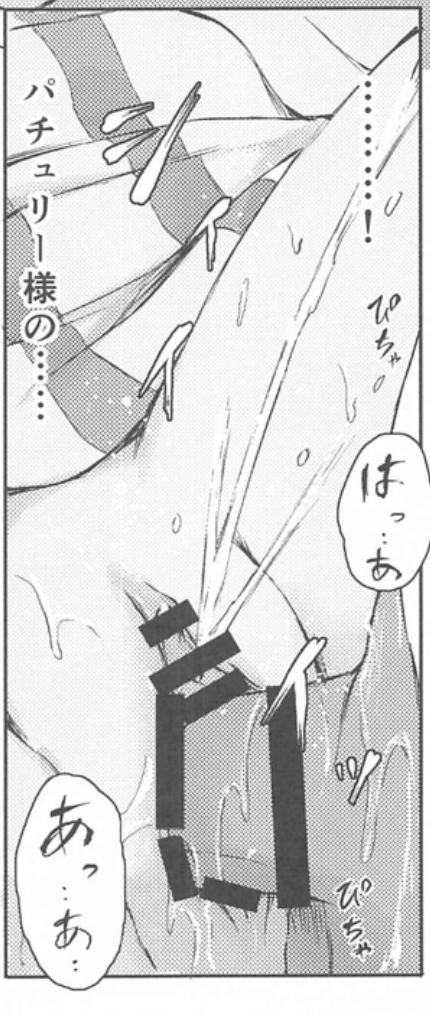
この日からだった

パチュリー様が  
絶頂する姿をもっと  
見たいと思うように  
なったのは……



すごい……  
軽く痙攣してる……

はぁ  
はぁ  
あ……  
臆中の……とくに  
弱いところにか  
当たったのか……



パチュリー様の……

はぁあ

あぁあ

「罰されたらそれまで」と  
開き直って…



小悪魔さんに  
ばれない場所と時間を  
見つけては

執拗に  
パチュリー様の身体を  
なぶり続けた

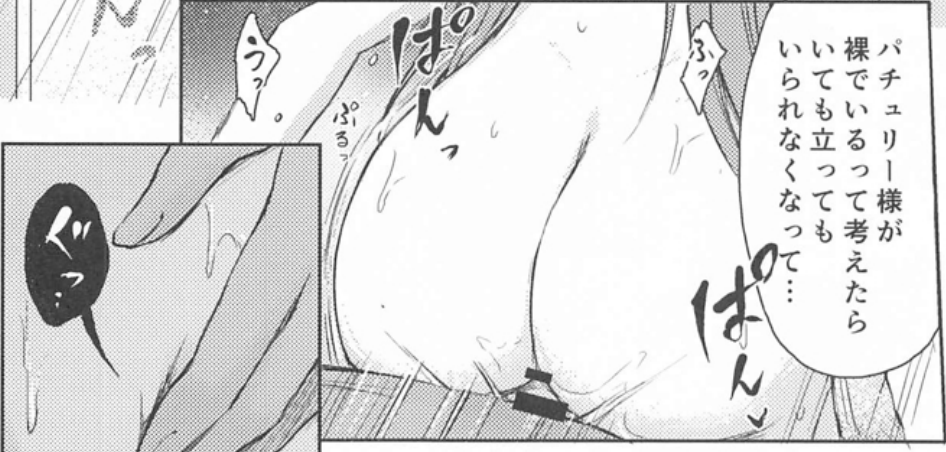


バスルームにまで  
入って…  
くるなんて…

どういふ神経  
してん…のよ  
…っ

パチュリー様が  
裸でいるって考えたら  
いても立っても  
いられなくなつて…

へん…タ…イ…



こ…ここが  
弱いんですよね  
パチュリー様…

あっ

あっ

あっ

ギョッ

やめ

そこ

回数を重ねるごとに  
いくまでの間隔が  
短くなって

次第にいき方も  
激しくなり

パチュリー様の身体が  
どんどんスケベに  
なっていくのを  
全身で感じた

いった後も  
念入りに

パチュリー様が  
反応する  
あらゆる部分を  
いじくり回して…

だ…

キュン

め…

コリ

コリ

…

は…

へ…

へ…

く…

く…

挿れなくても  
陰核を刺激するだけで  
軽い絶頂をするように  
なった頃には

魔法で焼かれるかも  
しれないという恐れも  
なくなっていた

今さら罪悪感  
感じ始めたの…?

いつもはもっと  
犬みたいに  
盛ってるクセに…

はあ…  
はあ…

なに…よ…

…小悪魔さんに  
ばれてしまいます

もう昼食から  
帰ってこられます  
から…

うっ…??

パチユリー様…??

もしかしで...



カチャ...



カツン...



パチュリー様...

シユル:



布団越しに音が聞こえています...

はっ

はっ

あ

はっ



...どうせ...あんたが襲いに来るだろうから

ギシ...

夜はいつも部屋の鍵閉めてたのに...



よりによって今日閉め忘れるなんて...

カアア







臆中も  
めくれそうな  
くらい吸い付いて  
……

んっ…  
く…う…

ずるる



挿れただけで  
すぐにイって  
しまうなんて…



パチュリー様…  
また敏感に  
なってます…

ひく  
ひく

いぶ



こんな  
スケベな身体に



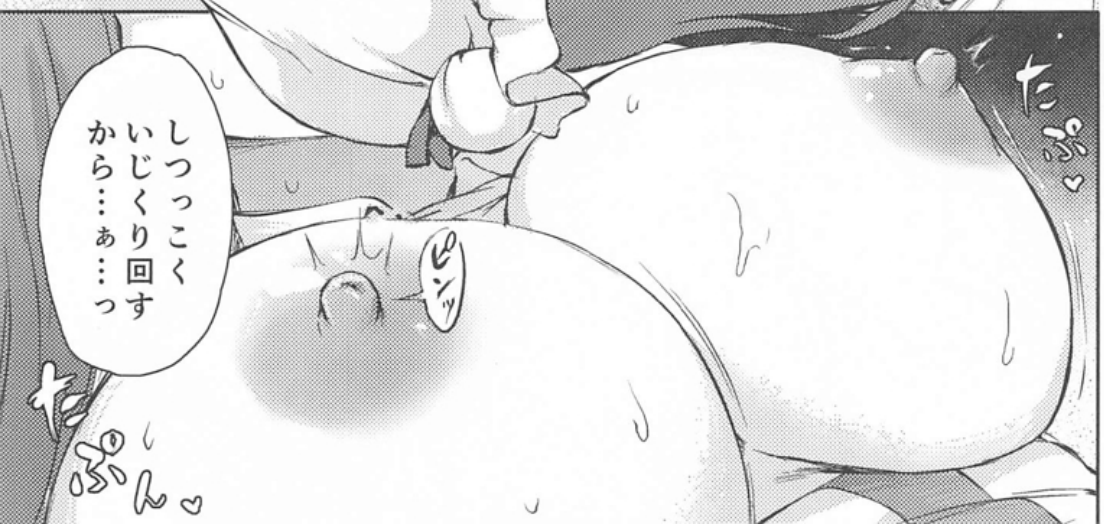
あ…あ

あ…あ

は…

あ

ひあ



しゅっくく  
いじくり回す  
から…あ…っ

た  
た



私のカラダの…  
色んなと…こ…

ちゅ

ちゅ









ドクン...



はあ...

わかる  
でしょ...

はあ...

こんな  
えっちなカラダに  
したんだから...

はあ...



なに...ポーンと  
してん...のよ



あうっ

ガッ



好きな  
ところを...

あはっ

ギョッ

は...いっ

パチュリー様の  
ためなら  
いくらでもっ...

はっ



好きなだけ...  
っ...

ギョッ  
ギョッ

あ  
あ

あ  
あ

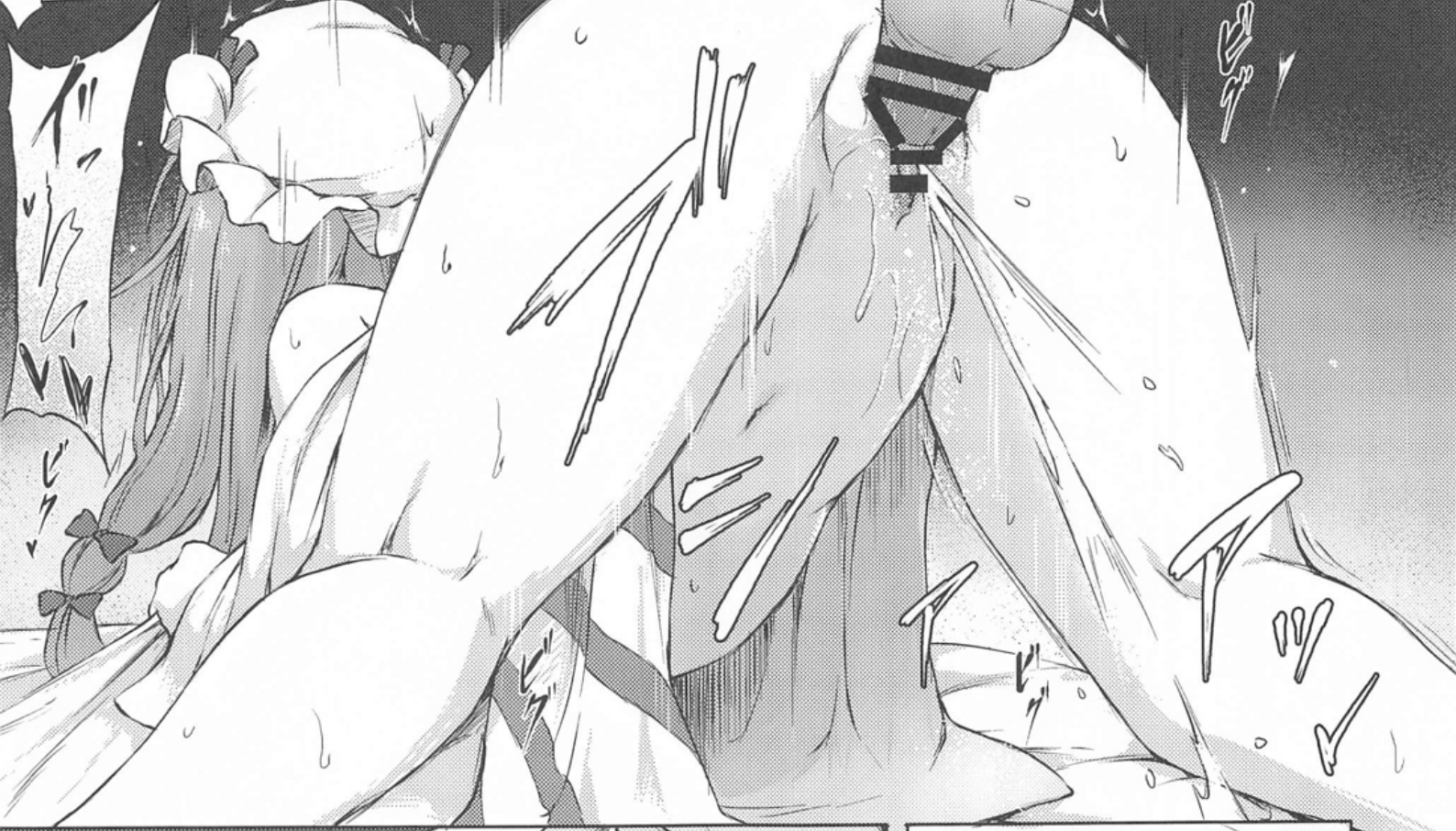
それ

ぶるっ

すぐっ

ん  
ん

あ  
あ



シーツは後で  
僕が替えます  
から...

ギョッ

ん  
ん

だ  
だ

め  
め

だ  
だ

はん  
はん

はん  
はん



沢山  
イって下さい...

お  
お

ひ  
ひ

あ  
あ

ひ  
ひ

び  
び



ダメだ……  
もうっ……

今までで  
一番強く  
締まってる……っ

いっひゃう  
あ……



——この時  
パチュリー様は

限界を超えるほどの  
快楽と刺激で  
意識が朦朧としており

体力も尽きて  
ほとんど動けないような  
状態なのに

声にならない声で  
『もっとな』と  
訴えかけていた

大図書館の主  
パチュリー・ノーレッジ  
にはまだまだ

身も心も  
ドスケベになる余地が  
残されていそうだ：

ぬぽ

あ

はあ

はあ

はあ

びん

ひく

ひく

ん

ん

どうも、てちでございます。

今回はパチュリーをどんどんエッチにしていく本になりました。

身体を開発していくシチュエーションというのは初めて描いたのですがパチュリーのように少しサバサバした感じのキャラがだんだんと自らの欲に抗えなくなっていくのが想像以上に良くて、個人的には今回のキャラ選びに非常に満足しております。

余談なのですが、この原稿を仕上げている最中に突然モニターがまともに映らなくなり、買い替えに行かざるを得ないアクシデントに見舞われました。締め切り直前のタイミングでそれはないだろ…と今後このようなトラブルは勘弁願いたいものです。壊れるにしてももっと余裕のある時にしてくれ…

ともあれ、本誌をお手に取っていただきありがとうございました。それではまた機会のある時まで…





誌名：パチュリー・ノーレッジ快発記録

発行：てこめんち

発行者：てち

発行日：2020年8月9日  
(東方名華祭14)

Twitter：@Techi0001

e-mail：techi35499@gmail.com

原作：上海アリス幻楽団 様

印刷：大陽出版株式会社 様

Touhou Project fanbook  
Presented by Tekomenchi